

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	酪農労働環境改善支援事業費補助金	開始 年 度	27年度
団 体 名	市内酪農家		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則，函館市酪農労働環境改善支援事業費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	酪農経営は、定型作業である毎日の搾乳作業や餌やりのほか、出産時には24時間体制の監視等、1次産業の中でも特に過酷な労働条件下にあり、持続可能な酪農経営と後継者の確保のためには、酪農ヘルパー事業の活用が不可欠である。しかしながら、近年の飼料・燃油価格の高騰等に起因する経済的な理由による利用控えにより、低利用水準となっており、負担が重荷になっていることから、ヘルパー利用料金に対する助成を行う。
目 的	(目 的) 酪農ヘルパーを利用する際の利用料金を助成することにより、本市の酪農家のヘルパー利用を促進し、もって高齢化の進む酪農経営を持続可能なものとするとともに、将来の担い手にとっても魅力ある酪農経営像を確立し、酪農業の活性化を図る。
・ 効 果	(効 果) 酪農家の労働環境の改善、酪農経営を持続可能なものとし、将来の酪農経営像を確立し、酪農業の活性化を図る。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	28 (決算)	428					429	857
	29 (決算)	511					512	1,023
	30 (予算)	700					700	1,400
	30 (決算)	538					538	1,076
	31 (予算)	694					694	1,388
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	28 (決算)			857				857
	29 (決算)			1,023				1,023
	30 (予算)			1,400				1,400
	30 (決算)			1,076				1,076
	31 (予算)			1,388				1,388

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	酪農労働環境改善支援事業費補助金
----------------	------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	酪農ヘルパーを利用する際の利用料金を助成することにより、高齢化の進む酪農経営を持続可能なものとし、当市の酪農業を維持するとともに、将来の担い手にとっても魅力ある酪農経営像を確立し、酪農業の活性化が図られる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	近年の飼料・燃油価格の高騰等に起因する生産コスト増の経費削減のための労働環境の悪化は、当市の酪農業の維持のために改善が不可欠である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	助成により、酪農環境の改善が図られ、将来の担い手確保等、自立的な酪農業へ寄与するものと思われる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	現状の当市の酪農業の維持を実現するためにも、環境改善を図る必要がある。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	酪農労働環境改善支援事業費補助金
----------------	------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
平成30年度 酪農家戸数 7戸 (うち補助利用対象者 6戸)	
目標 6戸×12回=72回	
(達成状況)	
平成30年度 酪農家戸数 7戸 (うち補助利用対象者 6戸)	
補助対象事業	62回
1戸あたり利用回数	10.3回

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	近隣市町村で利用するヘルパー組合のため, 利用希望に応えられない場合もあったようだが, 助成分を新規利用分に振り分けるなど一定の効果は見られた。
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) (見直しの時期)	
☐ 見直したうえで補助を継続		
☐ 廃止		
☐ その他		
(廃止の理由) (廃止の時期)		(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和3年度	☒ 終期到来時に再検討	
		令和3年度